



## Press Release

For immediate release – 2021年1月15日

# 次なるコロナを防ぐために、12団体が 「人と動物、生態系の健康はひとつ～ワンヘルス共同宣言」を発表

- COVID-19を含む新興感染症発生増加の背景には、森林破壊や農業の拡大といった環境破壊があると考えられている。
- 環境破壊が進んだ過去50年間に、新たな人獣共通感染症の発生頻度は高まり、毎年3～4つの新興感染症の発生が確認。
- 次のパンデミックを防止し、人や動物が健康に、そして自然と共に生きられる社会を実現していくためには、予防的アプローチであるワンヘルス（One Health）の実現が必要不可欠

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより人類は未曾有の危機に陥っています。

日本国内で、最初のCOVID-19の感染例が確認されてからちょうど1年を迎えた2021年1月15日に、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（東京都港区 会長：末吉竹二郎 以下、WWFジャパン）は、人と動物の医療や公衆衛生、環境保全に携わる機関・団体と共に、次なるコロナを防ぐため、「人と動物、生態系の健康はひとつ、ワンヘルス共同宣言」（添付）を発表しました。

COVID-19を含む新興感染症発生増加の背景には、森林破壊や農業の拡大といった環境破壊があると考えられています。環境破壊が進んだ過去50年間に、新たな人獣共通感染症（人と動物の共通感染症）の発生頻度も高まり、毎年3～4つの新興感染症の発生が確認されています。その多くが、自然破壊に伴い接触機会が増えた、野生動物に由来にすると指摘されています。

次のパンデミックを防止し、人や動物が健康に、そして自然と共に生きられる社会を実現していくためには、発生した感染症のワクチンを開発するだけでは十分ではありません。予防的アプローチである「人」「動物」「生態系」の健康をひとつと考え、これを守っていく、ワンヘルス（One Health）の実現が必要不可欠です。

この共同宣言では、12団体が、ワンヘルスの構成要素である3つの健康を守るため、それぞれの立場、分野の垣根を超えて、ワンヘルスにかかる課題や知見を共有し、次のパンデミックを防ぐために連携して取り組む意志を明らかにしています。

また、国や自治体、企業、団体、そして個人に宣言を周知し、賛同を募ることを通じて、日本における認知の拡大と取り組みの推進を図っていきます。

### 人と動物、生態系の健康はひとつ～ワンヘルス共同宣言

<https://www.wwf.or.jp/activities/statement/4540.html>

WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>